

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

新 = 新規事業、充 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

地域子育て支援センター運営事業

3,250万円

(担当：子育て支援課保育サービス係)

育児不安を抱える母親の相談や子育てサークル等の育成支援を行うセンターを、市内10地区で行い、地域全体で子育てしやすい社会づくりを目指します。

財源	国・県の負担額	2,497万円
	市の負担額	753万円



高清水子育て支援センター
「親子クリスマス会」の様子

児童虐待防止対策事業

37万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

児童虐待をなくすため、地域協議会を開催し、虐待についての相談等の対策を講じます。また、児童虐待防止に関する専門的な研修を実施し要保護家庭を支援するスタッフの資質の向上を図ります。

放課後児童クラブ等運営事業

6,935万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

共働き家庭などの、おおむね10歳未満の児童を預かり、放課後に適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図るため、市内全地区で放課後児童クラブ等を実施します。

財源	県の負担額	1,205万円
	利用者の負担額	1,654万円
	市の負担額	4,076万円



放課後児童クラブの様子

すこやか子育て支援金支給事業

2,500万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

子育てを応援するため出生祝金、入学祝金を支給します。

・出生祝金	第1・2子	2万円
	第3子	5万円
	第4子	10万円
	第5子以降	20万円

・入学祝金	第3子以降	10万円
-------	-------	------

財源	宝くじ助成金	2,000万円
	市の負担額	500万円

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(1) 子どもを安心して出産でき 健やかに育てられる支援を行います

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

子ども入院費助成事業

555万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

市内の小学生・中学生の入院に係る医療費の一部負担金を助成することにより、子育て家庭における経済的負担の軽減を図ります。

特定不妊治療費助成事業

50万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

特定不妊治療を受ける方への費用の一部を助成します。

一時保育事業

973万円

(担当：子育て支援課保育サービス係)

保護者のパート就労や病気、冠婚葬祭、育児等に伴う心理的・肉体的負担の解消等のため、一時的（緊急的）にお子さんを保育所に預けることができます。

市内10か所の保育所で行い、子育てしやすい社会づくりを目指します。

財源	国・県の負担額	300万円
	利用者の負担額	254万円
	市の負担額	419万円



楽しそうに遊ぶ子どもたちの様子



築館西保育所お誕生会の様子

母子保健健康診査事業

7,106万円

(担当：健康推進課保健指導係)

妊婦一般健康診査は今年度も引き続き14回の助成を行います。



3歳児健診むし歯0本をめざし、1歳6か月から3歳児までに歯科検診とフッ素塗布を4回行います。

乳幼児健診は2か月から3歳児までお子さんの成長発達、育児の相談を医師、歯科医師、保健師、栄養士、歯科衛生士、保育士、心理相談員が行います。

財源	国の負担額	1,557万円
	市の負担額	5,549万円

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

いのちを守る緊急総合対策事業 1億225万円

(担当：社会福祉課・健康推進課)

栗原市では自殺率が高いことから、自殺防止キャンペーンや講演会などによる啓発事業を継続して実施します。また、自殺要因の25%を占める金銭問題の解決が急務であることから、多重債務専用の電話相談や弁護士相談、栗原市のぞみローンでの解決方法を含め自殺を防止するための各種事業を行います。



自殺防止キャンペーンの様子

財源	県の負担額	100万円
	市の負担額	1億125万円

健康診査事業 2億295万円

(担当：健康推進課健康推進係)

市民の健康保持や病気の早期発見のため、各種健康診査・がん検診等により健康管理に対する支援を行います。

また、21年度に引き続き、女性特有のがん検診事業として、対象年齢の方に無料クーポン券を配布します。

財源	国の負担額	539万円
	県の負担額	222万円
	利用者の負担額	1,771万円
	後期高齢者医療広域連合の負担額	1,500万円
	市の負担額	1億6,263万円

新型インフルエンザ対策事業

108万円

(担当：健康推進課保健指導係)

新型インフルエンザの発生状況にあわせ、栗原市新型インフルエンザ対策行動計画に基づき、継続して対策を実施します。

市民にいち早く情報を提供し、感染予防の啓発と感染拡大防止対策を行ないます。

今後は、新型インフルエンザの再流行に備えて、消毒薬等を確保して対策を講じてまいります。

予防接種事業

1億303万円

(担当：健康推進課健康推進係)

予防接種法の規定に基づき、伝染のおそれがある疾病の発生及び蔓延を予防するために予防接種事業を行います。

BCG、ポリオ、三種混合（ジフテリア、百日せき、破傷風）、麻しん及び風しん混合、日本脳炎、高齢者インフルエンザ予防接種など



救急医療体制確保事業 2,000万円

(担当：健康推進課健康推進係)

市民の急患に対する救急医療体制として、市内3病院での救急患者の受け入れのほか、大崎市民病院救命救急センターでの診療を確保します。

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(2) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

訪問入浴サービス事業 216万円 (担当：社会福祉課障害福祉係)

自宅での入浴が困難な身体障害者に対し、訪問入浴サービスを行います。

財源	国・県の負担額	162万円
	市の負担額	54万円

日常生活用具給付等事業 1,471万円 (担当：社会福祉課障害福祉係)

重度障害者等に対し、日常生活の便宜を図るため特殊寝台や紙おむつなど日常生活用具の給付、または貸与を行います。

財源	国・県の負担額	1,103万円
	市の負担額	368万円

相談支援事業 1,679万円

障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供を行います。

成年後見制度利用支援事業 65万円

障害者にかわり、財産を管理したり、施設への入所に関する契約を結んだりできる成年後見制度の利用を支援します。

財源	国・県の負担額	48万円
	市の負担額	17万円

自動車運転免許取得・改造助成 70万円

障害者が自動車運転免許を取得したり、自動車を改造する費用の一部を助成します。

財源	国・県の負担額	53万円
	市の負担額	17万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

移動支援事業 452万円

屋外での移動が困難な障害者に、外出する際の支援を行います。

財源	国・県の負担額	233万円
	市の負担額	219万円

コミュニケーション支援事業 78万円

意思疎通を図ることが困難な障害者に、手話通訳者等の派遣を行い意思疎通の支援を行います。



手話通訳者が聴覚障害者の役所の手続きや通院の際にコミュニケーション支援を行っています

財源	国・県の負担額	57万円
	市の負担額	21万円

(担当：社会福祉課障害福祉係)

日中一時支援事業 246万円 (担当：社会福祉課障害福祉係)

障害者に日中活動の場を提供し、家族の就労支援や介護の負担を軽減するための支援を行います。

財源	国・県の負担額	184万円
	市の負担額	62万円

3 「健康や生活に不安がなく 優しさと思いやりに満ちたまち」

(3) 高齢者が生きがいを持ち 互いに支え合うまちを目指します

 = 新規事業、 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

高齢者福祉タクシー利用助成事業 216万円

(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

通院が困難な低所得の高齢者に対し、通院のためのタクシー利用の際の料金の一部を助成します。

寝具乾燥サービス事業 33万円

(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

自宅でのひとり暮らし高齢者等に対し、布団等の洗濯・乾燥サービスを行います。

財源	利用者の負担額	12万円
	市の負担額	21万円

緊急通報体制等整備事業 326万円

(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

自宅でのひとり暮らし高齢者等に対し、家庭用緊急通報システムの貸し付けを行います。

財源	利用者の負担額	101万円
	市の負担額	225万円

生きがい活動支援通所事業 2,966万円

(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

家に閉じこもりがちな高齢者に対し、通所によるサービス(ミニデイサービス)の提供を行います。

財源	利用者の負担額	600万円
	市の負担額	2,366万円

「食」の自立支援事業 499万円

自宅でのひとり暮らし高齢者等に対し、宅配による給食サービスを行います。

財源	利用者の負担額	200万円
	市の負担額	299万円

訪問理美容サービス事業 11万円

寝たきり等の高齢者に対し、訪問理美容サービスを行います。

日常生活用具給付事業 18万円

(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

ひとり暮らし高齢者等に対し、電磁調理器等の日常生活用具を給付、または貸与を行います。

軽度生活援助事業 1,080万円

自宅でのひとり暮らし高齢者等に対し、ホームヘルパーを派遣し、軽易な日常生活上の援助を行います。(家事援助)

財源	利用者の負担額	108万円
	市の負担額	972万円

(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

高齢者日常生活支援業務利用助成事業 100万円


(担当：社会福祉課高齢者生きがい係)

ひとり暮らし高齢者等に対し、庭の清掃や除雪作業などの日常生活の支援に係る経費の一部を助成するため、日常生活支援業務助成券(シルバー人材センターが行う日常生活支援業務に限り使用できる)を交付します。(生活援助)

4 「地域の特性を活かした 産業や交流が盛んなまち」

(1) 栗原ブランドの形成と高付加価値の地場産品づくりに取り組みます


=新規事業、=拡充事業 (事業名の頭に標記)

 栗原ブランドの確立支援事業 489万円
(担当：産業戦略課商工振興係)


栗原ブランド認定産品のPRイベント開催・インターネットショップの開設・取扱店拡大などを支援し、消費者に認知され信頼される産品の確立を図ります。



栗原ブランド認定品 (平成22年3月現在)

 栗原の森林づくり支援事業
1,200万円
(担当：農林振興課林業振興係)

適正な森林整備と栗原産木材の価値を高めるため、間伐作業道整備、搬出経費などの経費の一部を助成します。

 直売所・加工施設建設事業
6,850万円
(担当：農林振興課農政係)

農畜産物の生産・加工・販売までの一体となったアグリビジネス(6次産業)への取り組みにより、地産地消の推進や都市との交流を通じて、農畜産物の高付加価値化と農業所得の向上や消費者ニーズの情報収集を図るため、若柳地区に直売所と加工施設を建設します。

ほ場整備事業 2億805万円
(担当：農村整備課農地整備係)

経営体育成基盤整備事業など12地区でほ場整備を行います。

芋峠(築館・栗駒)、王沢(一迫)、大里(瀬峰)、尾松第2(栗駒・鶯沢)、川北(若柳・金成)、川北2期(若柳)、枕ヶ浦(若柳・志波姫)、栗原(築館・栗駒)、栗原2期(築館・栗駒)、城下(築館)、上富(瀬峰)、沖富(築館)



ほ場整備施工中の築館城下地区

財源 受益者の負担額 6,035万円
市の負担額 1億4,770万円
(うち市債「借入金」1億2,820万円)

園芸特産重点強化整備事業
3,117万円
(担当：畜産園芸課園芸振興係)

ハウス設置、生産機械導入などの事業に要する経費について、農業者団体及び生産組織に対し助成を行います。

財源 県の負担額 2,398万円
市の負担額 719万円

優良子牛保留等対策事業 703万円
(担当：畜産園芸課畜産振興係)

肉牛資源の確保と「栗原ブランド」の確立を図るため、市内の畜産農家が生産した優良牛を市内に保留及び導入した場合、助成を行います。